

よる表面に現われた肉体的徴候の観察によって、生命が守られています。従って、状態の正確な観察と記録を通して、患者を守りうるわけで、正確な観察とすみやかな報告、指示による処置及びそれらの記録が要求されます。さらに、膨大な処置や与薬等が短時間に終了してしまい為、手術野の変化に応じた必要な器械、材料、薬品類の敏速な補給が、厳密な滅菌操作をともって行動されます。

今後、まだまだ努力を重ねて行くことばかりの内容の手術看護記録ですが、これからの問題に一步一步前向きに取りくんで進んで行きたいと思えます。

6) 今後の課題一問題点

やはり何度か改善を試みても、記録の整理が遅れ、記録内容が不正確になる問題点は、なかなか解決出来ません。又、簡潔な要点だけの記録をわかりやすく記入できるように訓練、努力していく為、どの程度に詳しい記録が必要かの工夫も、今後の問題として残されます。

記録の内容の向上を計る為に、反復されて行なわれる処置等の省略の問題や、看護者の観察点、注意点からの内容の向上を検討してみたいと思えます。正しい文章で、誤字を書かないことにも注意しなければならないと思えます。

さらに、術前訪問を通して、一般状態、症状の把握をし、特に子供との顔見知り、親近感をもたせる工夫をして行きたいと思っています。

看護記録をもとに症例をとり上げてカンファレンスを持ち、日毎に変わっていく手術看護に対応して行く為の学習や、失敗例を二度と繰り返さぬ為の反省をして、私たち自身の進歩向上を計り、患者の安全を守り、良い手術が受けられるよう努力したいと思えます。

医療器材の滅菌効果が維持されるための包装の準備について

青柳 一枝
発表者 太田 き志子

I、はじめに

医療器材や各種トレーの包みかたはいろいろあって、各病院でも必ずしも一様ではありませんが、医療器材や衛生材料の滅菌や整備保管、出納を業務とする中央材料部では、「医療器材が滅菌・消毒に耐え、そして滅菌消毒された器材が使用直前まで滅菌効果が保たれるような包装はどうすればよいか」という問題は中央材料部の業務に携わるものの大切な課題であると考えいろいろ工夫してまいりました。

医療器材の包装は、中央材料部のものはもちろん、これを取り扱う各科の人たちの取り扱いかんによっては、せつかく滅菌された器材も使用直前に不潔となって使用に耐えなくなる。そこで、中央材料部では包装の基準としての包みかたや開きかたを研究し、滅菌された器材が使用直前まで無菌状態を保つための操作や手順について発表します。

II、包装の順序について

包装に必要な物品

包布・滅菌表示用テープ

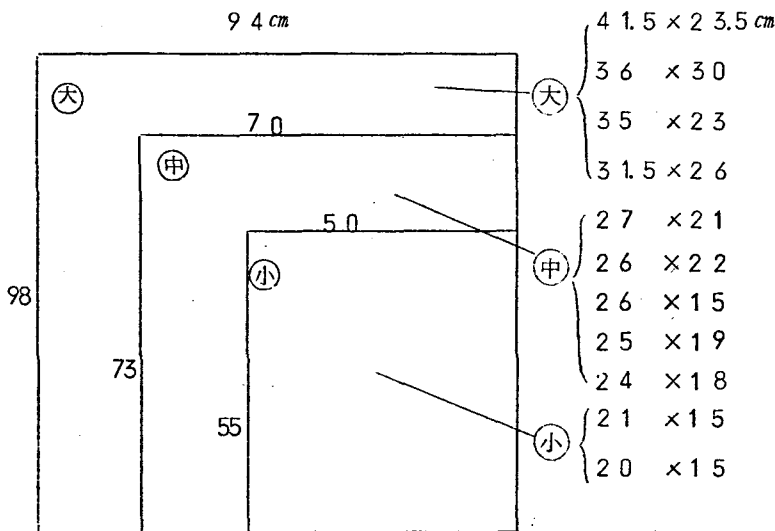
マジックインク

A. 包装に必要な包布の決め方(基準)

包布のサイズはバットのサイズによって決めますが、現在中央材料部で使用しているバットは11種類あり、これを大中小に三分類し、包布もこれにあわせて三種類を作製。

包布のサイズ

バットのサイズ



1. バットを包布の中央におく
2. ②の部分①に向って折り、バットの全面をおおったとき、おおった布が大き過ぎず小さ過ぎないこと。

○大き過ぎるとき

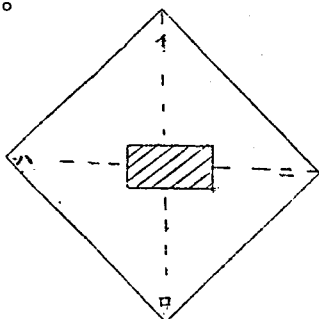
- すみが厚く重って包みにくい。
- 滅菌の度合にむらができやすい。

○小さ過ぎるとき

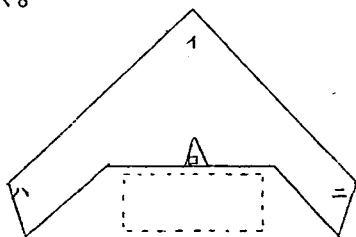
- セットが崩れやすい。
- 薄手の部分が保存や運搬の場合に不潔になりやすい。

B、包みかたの順序

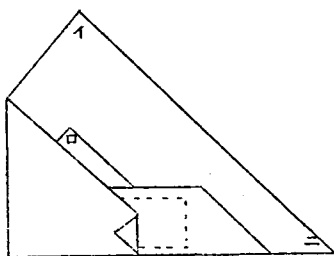
1. 滅菌しょうとするトレーを包布の中央におく。



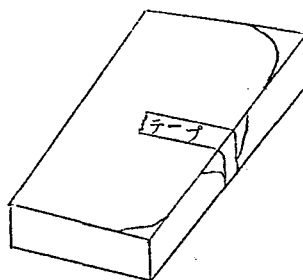
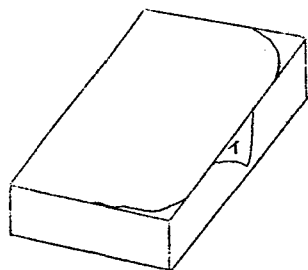
2. ②の部分①に向かってトレーにそって折り、③の先端をトレーの向う側の下に折り込み、さらにつまみ出し易いように④の先端をのぞかせておく。



3. ③の部分は普通の包みかたのように重ねて折り、その先端はつまみやすいように折り返しておく。



4. ④の部分も③と同様に折り先端をおりかえしておく。



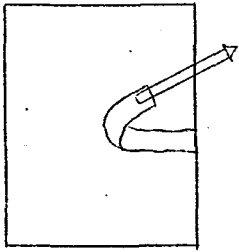
5. ①の部分を手前に折り③④の重なった部分にさしこんで、①の先端は引き出しやすいようにのぞかせておく。

6. 包み終わったトレーの①の部分を滅菌表示用テープで封じ、トレーの種類をマジックで記入する。

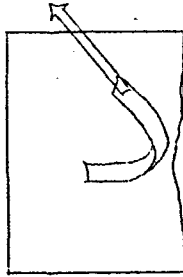
C、開きかたの順序

… トレーの場合 …

包みかたの順序は滅菌して、これを開くときになるべく無菌の状態が維持できるように考えて順序だてたものであるから、開くときの順序こそ大切である。



正しい
はがしかた



正しくない
はがしかた

1. 滅菌ずみのセットの①の部分
を右手側におき、テープを布端
の方向にはがす。

(注意)

逆の方向にテープをはがすと包
装が乱れやすく不潔になりやす
い。

2. テープをはがしたら、①の位
置を自分の手前におき、のぞい
ている①の先端をつまみ出して
向う側に開く。

3. 折りかえしてある②の先端を右手でつまんで開き、③も同様に左手でつまんで開く。

(注意) この場合、包みの内側は清潔であることを考えておくことが大切で、包布の先端
をつまみ出すときもなるべく布端をつかむか布の外側端をつまむようにして、でき
るだけ内側の清潔な部分をひろく保つように心掛けることが肝要である。

4. 最後にトレーの下にのぞかせてある④の先端の上側をつまんで手前に開く。

……一本包みの器材を手渡す場合……(スライド参照)

1. 滅菌済みの包みを左手に持ち、包みの端を止めてあるテープを布端の方向にはがす。

(注意) 逆にはがさないこと。

2. 右手で外側の布端をつかみ、包みをひろげる方法で、右手は軽く引っ張り、左手は引っ張ら
れた包みが回転するので、次の折り端が出てくるまで静かに手のひらで調節しながら回転させ
る。

3. 次の折り端が出たら右手で外側の布端をつかみ布を開き、同様の操作を反対側にも行う。

4. 四枚目の布端を開いたら、左手でささえていた器材をそのまま布の下からしっかりとぎり、
右手で下にさげてあった三枚の布端とともに左手首をおおうようにして、器材を相手に手渡す。
こうすれば、相手側が手渡す人の手にさわっても不潔な部分はすべてつまみ込まれているので無菌
状態が保てる。

Ⅲ、おわりに

滅菌済みの器材が使用直前まで無菌の状態が維持されているためには、その包みかたから開き
かたまで一定の基準にしたがった操作が必要です。簡単な事柄のようですが、消毒器材を取り扱
うものにとっては大切な動作で、意識しないで自然に行えるように日頃の訓練が大切であると考

え、ここに、その研究の一端を発表しました。

第一外科

老人の術後肺合併症の予防について

山崎 きく美

第一外科一同

最近の老人の寿命延長と外科学における術式、器械の進歩に伴い老人の手術が増加し当科においても入院患者の大半が老人となってくる。老人患者は年令と老人は平行していないとよく言われますが一般的に言えば加齢と共に全般的な体力が衰えることはまちがいになく手術経過が順調であってもひとたび合併症をおこすとそれからの回復は困難となることが多い。合併症の中で統計的にも呼吸器に関するものが多く当科においても今まで肺炎を併発した患者の中で特に老人が多かった例があり「老人の術後肺合併症の予防を研究課題としてとりあげました。

2. 患者紹介

A氏 62才 ♂

病名 十二指腸潰瘍

術式 胃切除 BⅠ法 全麻 所要時間 3時間20分

B氏 60才 ♀

病名 噴門Ca

術式 胃切開 ブローベ 全麻 所要時間 1時間15分

C氏 73才 ♀

病名 噴門部粘膜下腫瘍

術式 胃切開 胃部分切除 全麻 所要時間 3時間10分

D氏 64才 ♂

病名 噴門食道Ca

術式 胃瘻造設 全麻 所要時間 1時間50分

E氏 69才 ♂

病名 胃Ca

術式 胃切開 BⅡ法 全麻 所要時間 4時間40分